

第 48 回衆議院議員総選挙 公示日にあたって

ご安全に。加盟組合・構成組織、県本部・県センターの皆さんの連日のご奮闘に心より敬意を表します。

本日、10月10日（火）、第48回衆議院議員総選挙の公示がなされました。

22日（日）の投開票日に向け、熾烈な選挙戦がスタートします。

9月28日に召集された第194回臨時国会冒頭の安倍総理による「大義なき、極めて自己都合的」解散が打たれて約2週間が経過するなかで、民進党は希望の党と合同することを決定し、既に民進党に公認されていた全ての候補者は民進党の公認を解除され、希望の党に公認、希望の党の公認を得られなかった候補者は無所属等で立候補することになりました。このことは当に日本の政治史における大きな転換点であると言っても過言ではありません。

このような政治的な混乱のなか、連合は10月4日・5日に第15回定期大会を開催し、特定の政党支援は時間的な制約のなか見送らざるを得ないものの、今日まで働く者のために力を尽くしてくれた連合推薦候補者全員を全力で支援していくことを決定しています。

基幹労連もこの決定を受け、以下の取り組みを、本日開催した総合諮問会議において確認しました。

<第48回衆議院総選挙に関する方針>

- ・国政フォーラム議員及びJCM組織内候補への全力を傾注した支援（重点候補）
- ・連合推薦候補者への支援

また、今次第48回衆議院総選挙比例区においては、「希望の党」へ投票することとしますが、各地域において特段の事情がある場合は、地方連合と連携の上、柔軟に対応することとします。

安倍一強体制に終止符を打ち、日本の政治を私たち働く者の手に再び取り戻すことによって、希望のもてる豊かな明日を切り開くための闘いです。

そのために、まずは私たち基幹労連の政策推進に日々尽力頂いている国政フォーラム議員全員の勝利を果たしていかなければなりません。

今こそ、基幹労連26万2千組合員の総力を結集し、一丸となってこの闘いに立ち向かっていきましょう！

中央本部が先頭に立って最後まで力を尽くしていくことはもちろんのこと、全ての加盟組合・構成組織、県本部・県センターの奮闘を心よりお願いします。

ご安全に

2017年10月10日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 弥久末 顕